

ともえ No. 84

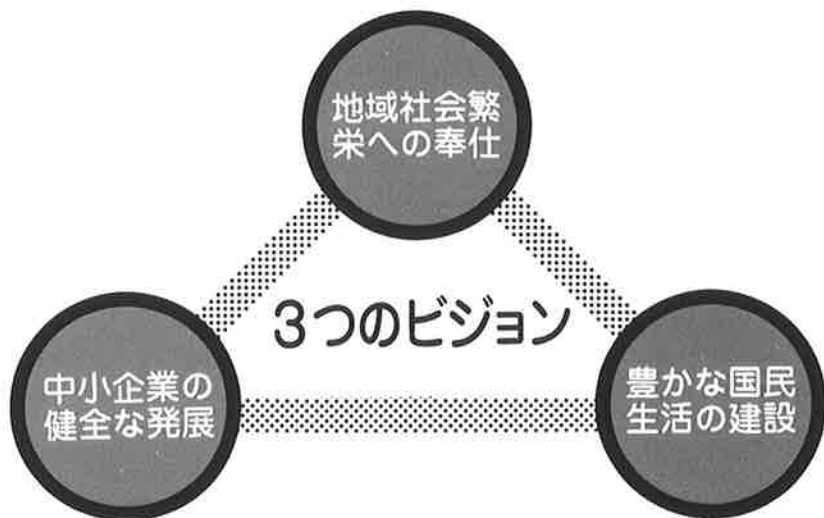


'88 青函博 みんなの力で成功させよう!



■ 函館商工会議所報 ■
1988 3月号

行動する
はつらつたる
商工会議所



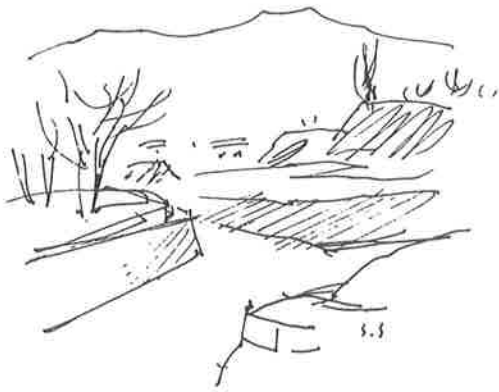
はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521(代)			

視点	1
会議所の動き	2
地域の景気	6
調査レポート	8
アドバイスコナー	10
寄稿文	12
Q & A	14
青函博コーナー	16
新会員のご紹介	17
ティータム	20
ご案内	22



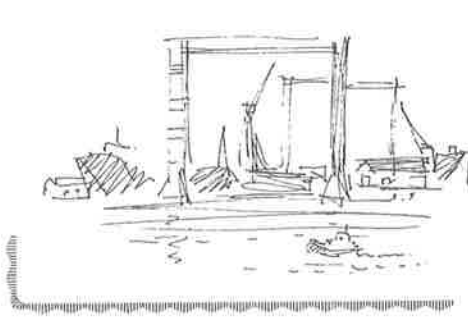
● 視点

去る十三日からJR津軽海峡線が営業運転を開始いたしました。この四分の一世紀にわたる大工事の関係者の方々にとっては、この日は永久に忘れられぬ日となることでしょう。また、トンネルの華々しいデビューの陰で、八十年の歴史を刻んできた青函連絡船が、その最後の航海を多くの人々に祝福されつつ廃止となりました。

そして札幌・上野、函館・大阪間の豪華な寝台特急を始め、青函間の快速列車は、貨物列車ともども本州・北海道間の大動脈として、天候に左右されずに運行でき、時間も大幅に短縮されたほか、大量の人・物の交流をも可能にしました。このように今後予想される津軽海峡線のもたらす経済効果には、量り知れないものがあると考えることができまます。このため、地域経済の発展のための実効ある具体的な施策を推進することにより、この秘められた経済効果を掘り出すことが、地域の今後の重要な課題であります。

地域の発展は企業の繁栄にもつながります。企業の繁栄には優秀な人材が必要です。良き人材を発掘し、適材適所に配置し立派な企業人に育てることも大切な仕事です。

四月には希望に満ち溢れた新入社員が入ってきます。そして七月には地域をあげての青函トンネル開通記念博覧会が開催されます。この博覧会は、正に函館の将来を左右する重要なイベントであるといえます。この輝かしい年に入社する若き社員のためにも、諸般の準備を進めておきたいものです。



会 議 所 の 動 き

青函新時代の幕明け 津軽海峡線開業式・祝賀会

青函トンネルは、全世界が注目

しているなかで、

去る三月十三日

歴史的な開業の

日を迎えました。

当日は、函館

駅構内で開業一

番列車の特急「

はつかり10号」

の出発式が行わ

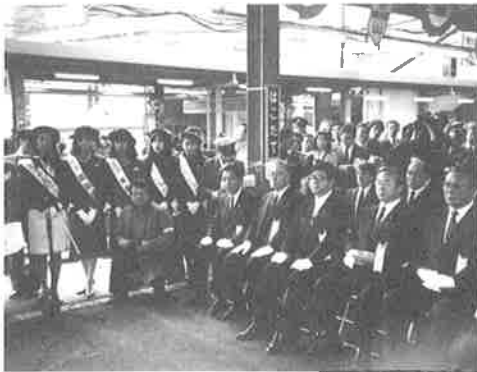
れ、横路知事や木戸浦市長などの

来賓とともに、本道経済

界を代表して本所・川田

会頭も参加しました。

また、同日午前十一時



△函館駅4番ホームにて

超満員の国際ホテル▷



主催者として▷
来賓を出迎える
本所・川田会頭



からは函館国際ホテルで「津軽海峡線竣工開業式」並びに「同祝賀会」が、石原運輸相、粕谷道開発庁長官をはじめ横路知事、本所・川田会頭ら道内関係者約千二百人が出席して盛大に行われ、祝賀会の挨拶の中で横路知事は、「青函トンネル有効利用のためにも函館までの新幹線建設に向けて、一層努力していく」との決意を述べられました。

また、同日午後五時半からホテル法華クラブで、十三日を最後に八十年の歴史に幕を閉じる青函連絡船との別れを惜しみつつ、多くの関係者による終航謝恩パーティーが開催されました。

このような交通路の一大変革により、青函新時代を迎えたわけがこのチャンスを利用し、地域経済の活性化をはかるため、本所としても、地域振興の諸対策に鋭意取り組んで参ります。

道産業パワーアップ委地区別懇談会

北海道経済のおかれています厳しい状況を打破して、地域経済の活性化をはかり新たな発展の道を切り拓くため、道産業の事業機会の創出と拡大の具体的方策を検討し、実現をめざしての「北海道産業パワーアップ委員会地区別懇談会」が、去る三月七日函館市において開催されました。

この会議は、札幌通商産業局が主催したもので、当日は平戸札幌通産局長を始め、開発企画課長や鉱政課長等が出席し、函館市からも本所・川田会頭、市役所を始め各業界代表二十三社が参加の上、それぞれの立場から、道産業の育成強化をはかるために具体的などのような方策を講じているか、また、今後の対策は如何にあるべきかなど、活発な意見の交換がなされました。特に道産業の育成については、業界相互の道産品に対する調達拡大の意識の強化と

意見交換

努力の必要性が前面に出され、そのための協力が約束される一方、技術・品質・性能・価格・納期等について道外製品に劣る面が指摘され、更に一層の企業努力が要求されると同時に、本州企業に対抗しての競争力のアップや品質の向上、さらにはコストダウンなどが

ニューメディアの先駆けCATV説明会開催

本所高度情報化委員会では三月八日「ニューメディアの進展と都市型CATVの状況」という名前で説明会を開催しました。

CATVはもともとテレビ受信が難かしい難視聴地区で、有線テレビ放送を見るために生まれたものですが、現在ではニューメディアの一翼として、一般家庭で多チャンネルを利用し多様な情報を受信出来る都市型CATVに変わってきております。

利用者側からも強く求められていることが窺えました。又、今後の対策についても本道の産業構造面にいくつかの欠落部分があり、需要に答えられないこともあることからこれらの道産業の育成に全道的視野での努力の必要性や共同受注或いは異業種交流の促進、情報ネットワークの整備等産業振興発展の為の積極的な提案がなされ、また、行政の指導強化についての要望も出されるなど短時間のうちにも盛会裡に懇談を終了しました。

昨年から今年にかけて全国で十六局が開局、道内でも既に札幌、帯広で事業が開始され、なお全国約四百市町村で検討が始まっているとのこと。本所ではそのような背景をもとに当地域としてCATVの導入を検討するきっかけにするべく説明会を開催したものです。

講師である拓銀の氏家情報開発部長は全国の都市型CATVの動向について、①民間衛星打ち上げ

で番組供給能力が向上、②番組供給会社による番組の供給量も増大、③CATVはハイビジョンの優れた画像の受信にも適している、④NHK衛生放送の開始等により今後全国的に広く普及するであろうとの見通しを述べたうえで、道内主要都市の動向を説明、更に当市において事業展開をすすめる際の事業規模、留意点などについて解説されました。

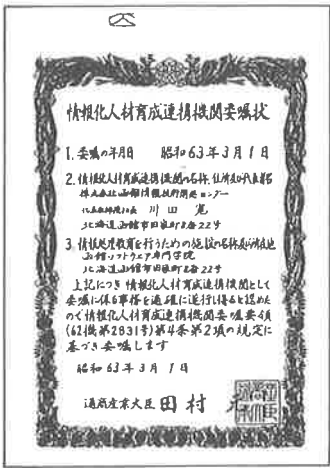
次いで既に試験放送を開始、四月から正式に開局される札幌CATV(株)鈴木常務取締役から、同社の設立に至る経過と、装置産業であり先行投資型企業としての問題点にふれながら、設備計画、資金計画や番組編成、営業体制等について詳細な説明がなされました。同社がこの事業の実施にあたり感性、都会性、楽しさ、対話を基本理念としていることが良く理解出来ました。

今後当市においても両講師の説明と先進各都市の事例を参考に、CATV事業の展開についての検討をすすめていくことになるでしょう。

通産省の委嘱指定校へ 函館ソフトウェア専門学院

高度情報化時代に対応しテクノ
ポリス函館の情報技術者育成のため、一市三町と経済界が一体とな
って設立した函館ソフトウェア專
門学院の、コンピュータ経理科
(二年制)二十九名が、三月十五
日第一回卒業生として巣立ちまし
た。

OA時代に適応する情報技術を
身につけた二十九名の卒業生に対
し、七十二社から八十人もの人
があり、いかに実社会での即戦力
として、その活躍が期待されてい
るかがわかると思います。



又、同学院は三月一日付で通産
省のソフトウェア関係技術者の不
足解消と技術水準の高い人材の育
成を目的とした情報人材育成連
携機関委嘱校の指定を受けました。
教育内容、施設等三十項目に及

「大店法の見直しと内容を説明 第一種大型店と通産局が懇談

昨年六月十七日、「大店審会長
談話」として発表された大店法の
運用見直しに関連して、市内第一
種大規模小売店舗十一店と監督官
庁である札幌通産局との懇談
会が去る二月九日、本所議
員室において開催されまし
た。懇談会では札幌通産局
下館繁良課長補佐から「大
店法の基本的枠組について
は今後も維持し、経済社
会条件の変化への対応は運
用で処理することになる。現
在特に重要になっている

ぶ審査基準をパスし、指定された
のは全国百五校ですが、第三セク
ター方式で経営されている同学院
のように専修学校以外の機関とし
ての指定は僅か四校のみで、同学
院は極めて高い評価を得たわけ
です。今後通産省が推進する事業と
の密接な連携のもとで益々の充実
が期待されており、優秀な情報技
術者が地域社会に送り出され地域
の情報化や活性化に大きな推進力
をもたらすことでしょう。

のは、(1)閉店時刻の見直し、(2)事
前説明の適正化、(3)大店審の活用
の三点である」と説明されました。
また、函館地域については、「青
函トンネル、青函博に加え多くの
観光資源をもつインパクトに強い
都市である。函館の活性化は全道
の活性化にもつながる。また、そ
の中で小売業の果たす役割も大き
い。これからは大型店と中小小売
店とが協力し、地域をあげて活
化に取り組んでいかなければなら
ない。そのためにも大型店は地元
とのコミュニケーションを深める

ことが大切であり、大型店同志の
連絡組織も必要でないか」との見
解が示されました。

本所共済制度の内実

生命共済……従業員の一に備え
るために安い掛金で
高額の保障しかも加入年齢に関係
なく掛金は一律と大変有利です。
また事業主・法人が従業員のた
めに負担した掛金は全額経費とな
りますので従業員全員の加入をお
すすめします。

特定退職金……優秀な従業員の採
用と定着性を高め
るためにも必要で、掛金は一人月
額千円より二万円までですが、途
中増額もできます。また掛金は全
額経費となりますので生命共済同
様全従業員の加入をおすすめしま
す。

経営者年金……経営者自身が将来
に備えるための個
人事業主または法人役員の年金制
度で役員の退職金として、また、
老後の年金として利用できる制度
です。



事務局日誌

2月

***部会**

16(火) 観光サービス部会正副部会長会議

***委員会**

26(金) 青函博特別委員会・同特別負担金委員会合同委員会

***正副会頭会議**

22(月) 第48回正副会頭会議

***会議(日商)**

8(月) 昭和62年度商工会議所流通問題研修会

***会議(道商連)**

18(木) 昭和62年度小規模事業指導推進費補助金等変更承認申請事務打合せ会議
24(木) 第7回運営委員会

***審査会**

9(火) 小企業等経営改善資金の審査会

***諮会議**

1(月) 商工会議所共済制度連絡協議会
 ◦ (財) テクノポリス函館技術振興協会第2回技術審査委員会
 4(木) 成功させよう青函博の会宿泊部会
 8(月) (財) 東北開発研究センター第2回青函地域委員会
 9(火) 札幌通産局と第一種大型店との懇談会
 ◦ 第16回函館地域電力懇談会
 10(水) 函館商業活動調整協議会
 12(金) 青函トンネル資材協力会役員会
 ◦ 昭和62年度小企業等経営改善資金貸付推薦団体役員連絡協議会
 13(土) 成功させよう青函博の会宿泊部会
 ◦ 函館市競輪運営協議会
 15(月) (社) 函館観光協会設立発起人会
 15(月)~17(水) 湯の川温泉街診断最終打合せ会議
 16(火) 国立函館大学誘致について意見を聞く会
 17(水) 函館市都市計画審議会
 ◦ 道立函館美術館運営協会正副会長会議
 ◦ 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会常任幹事会
 ◦ 国民金融公庫と同公庫利用者との連絡懇談会
 18(木) 渡島・桧山(函館・江差)地域雇用開発会議
 19(金) 第2回青函博実行委員会総会・第5回運営委員会
 ◦ 函館市公害対策審議会

19(金) 青函博にむけての港湾関係業者会議
 22(月) 市企画室との新幹線現函館駅乗入れに関する協議
 23(火) 行政相談懇談会
 24(水) 第3回世界・食の祭典推進協議会
 ◦ 婦人会例会
 25(木) 箱館五稜郭祭関係者打合せ会議
 27(土) 国立函館複合大学誘致運動報告会
 29(月) (財) 東北開発研究センター第3回青函地域委員会

***陳情・要望**

4(木) 道議会総合開発特別委員会への道新幹線建設促進に関する陳情

***講習・催物**

2(火)~3(水) 新規白色申告者確定申告説明会
 3(水) 第22回はごだてめめぐり函館生産品愛用まつり
 5(金) 工業所有権セミナー
 10(水) 経営相談
 12(金) 法律相談
 17(水) 発明相談
 18(木) 経営安定特別セミナー「変革に打ち勝つ企業体質強化法」
 19(金) 経営者協会セミナー「今後の労働情勢の変化への対応」
 25(水) 北東公庫移動相談室
 26(金) 法律相談

***検定試験**

7(日) 第122回珠算検定試験
 17(水) 第21回販売士検定試験(3級)

***刊行物**

20(土) 所報「ともえ」No.83(2月号)発行

***相談・診断**

金融	70	税務	437	経理	435	経営	77
労働	3	取引	0	その他	1	計	1,023

***貸室**

本館 22 別館 8

***文書**

受信 180 発信 15

***慶弔・その他**

5(金) 小笠原不動機駅前テナントビル地鎮祭
 8(月) 福田強氏叙勲記念祝賀会
 10(水) 函館卸商連盟新年懇親会
 11(木) '88はごだて冬・フェスティバルオープニングセレモニー
 ◦ 函館競馬場大型映像ディスプレイ装置「ターフビジョン」竣工記念式典並びに披露宴
 16(火) 第12期棋聖戦第4局函館対局前夜祭
 22(月) 海上自衛隊第4護衛隊司令部表敬訪問
 ◦ 海上自衛隊艦上晩餐会
 ◦ 海上自衛隊主要幹部懇談会
 24(水) 函館市商店街振興組合連合会新年懇親会
 ◦ 鈴木よね氏昭和62年度北海道産業貢献賞受賞祝賀会
 25(木) 日本団体生命保険(株)商工会議所共済制度20周年感謝の会
 26(金) 函館競馬場馬主協会新年会
 ◦ 議員懇話会
 27(土) 函館プロモーション・ビュロー新春懇親パーティー
 ◦ 北海道卸商連盟地産産業振興懇親会

スポーツマンの専門店

株式会社 函館スポーツハウス

■本店/函館市松風町16番16号(東映劇場向い)
 ■支店/函館市本町8番21号(行啓通り)

TEL (代) 22-0307
 TEL 55-1800・55-3800

は、引き続き目一杯の生産を継続しているが、安値インドネシア製品の流入増等に伴う市況軟化を眺め、出荷を若干抑制。また、漁網では、昨年の豊漁を映じてイカ刺網の更新需要がみられるものの、底引網の不振を主因に減産を持続。

(4)建設関連

公共工事の発注増（主要5官公庁の年度初来発注累計額前年比+20%）や民間建築工事もこれまでの個人住宅、店舗、ホテルにレジャー関連施設等も加わって一段と盛り上がりを見ていることから、建設筋では高水準の手持ち工事を抱え引き続き活況を呈している。このため、生コン等建設資材の荷動きも好調を持続しており、セメントでは冬場不需要期としては近年にない高目の生産を実施。

(5)漁業

沿岸スケトウ漁（渡島・松山支庁調べ、1月末現在）は、豊漁（水揚量前年比+14%）ながら、水揚金額は魚価安から前年を下回っている（水揚額前年比△17%）。また、噴火湾養殖ホタテ漁も水揚額は魚価安等からやや低調。

(6)消費動向

1月中の市内大型小売店(10か店)の売り上げは、下旬以降の寒波到来により防寒靴・重衣料等季節商品や家具などが好売れ行きを示したうえ、一部百貨店の催事奏効もあって前年比+6.9%と久方振りの高い伸び。また、耐久消費財でも、家電販売がVTR、オーディオ、電子レンジ、洗濯機等を中心に好調を持続しているほか、自動車

販売も商用車、ニューモデル乗用車の好売れ行きから、2か月連続の二桁台の伸び（1月中管内新車販売台数前年比+10.5%）。この間、観光・レジャー面では、青函連絡船ブーム等を映じてホテル・旅館等の宿泊客数が高い伸びを続けているほか、飲食店、みやげもの店等の売り上げも好伸の様様。

3.金融事情（1月中）

- 実質預金は、年末滞留の法人預金の剥落から月中287億円減となったが、減少幅は月末休日に伴う高止まり等から、前年(472億円減)に比べ大幅縮小。一方、貸出は、水産加工、建設、卸・小売等を中心に年末決済・賞与資金の返済が嵩んだものの、月末休日に伴う高止まり要因に加え、地公体向けつなぎ資金等がみられたため、月中128億円減と前年(261億円減)を下回る減少幅。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、低利な年末決済資金等の返済進捗から月中+0.002%と前月(△0.031%)下落のあと再び上昇。
- 銀行券は、年末決済資金等の順調な還流から、月中168億円の還超(前年同179億円)。
- 財政収支は、公共事業関係費の支払いが増加したものの、保険等の受け入れが順調であったため、月中72億円の受超(前年同65億円)。

2月

昭和63年2月25日

地域の

景況

—— 日本銀行函館支店 ——

1. 概況

- 最近の管内経済動向をみると、公共投資、個人消費の増勢持続に加え、設備投資の動きも漸次広範化するなど、管内景況は着実に拡大しているように窺われる。
- 製造業では、一部の先が引き続き低迷を余儀なくされているものの、建設関連業界（合板、合板機械、セメント・生コン等）が公共投資、民間建築工事の盛行から引き続き活況を呈しているほか、電子部品等でも輸内需の盛り上がりから目一杯の生産を続けており、製缶機械、水産加工、段ボール等も需要堅調等を背景にフル生産ないし高操業を持続。一方、非製造業では、土木・建築筋が高水準の受注残を抱え繁忙裡に推移しているうえ、百貨店売り上げも季節商品の好売れ行きに加え、バーゲンセールの影響等もあって高伸したほか、自動車・家電販売も好調を続けており、観光・レジャー一面でも青函連絡船ブーム等を映じて引き続き盛況。

こうした状況下、企業の設備投資をみると収益好転等を背景に、製造業では新製品開発投資、合理化・能力増強投資に踏み切る先が増加しているほか、非製造業においても、これまでの店舗、ホテル・旅館等に

加え、レジャー関連施設投資がみられはじめている。

- 金融面では、1月中の貸出は年末決済・賞与資金等の返済が嵩んだため、大幅減少となったものの、減少幅は月末休日に伴う高止まりや地公体向けつなぎ資金等から前年を下回った。管内銀行の貸出約定平均金利は低利な短期資金の返済進捗から前月比小幅上昇。

2. 主要業種別動向

(1)機械

電子部品が輸内需の盛り上がりを背景に目一杯の生産を継続しているほか、合板・製缶機械でも需要好調から、手持ち受注残高は増加の一途で、時間外の拡大、外注の増加等により対応している。造船では、大手筋の大型新造船は引き続き不振ながら、修繕需要が官公需を主体に底固く推移しているほか、中堅筋のアルミ船受注もホタテ漁家向けを中心に比較的順調。この間、これら企業の中には新製品開発投資、合理化・能力増強投資を企図する先がみられている。

(2)食料品

水産加工では、春先の行楽需要を見越した消費地問屋筋からの注文が順調なため、大方の先が比較的高目の備蓄生産を行なっている。飼料・魚油でも、国際市況の上昇等を映じた輸出の持ち直し（魚油）を主因に、荷動きは堅調。また、乳加工品も粉乳を中心に生産、出荷とも順調。

(3)その他製造業

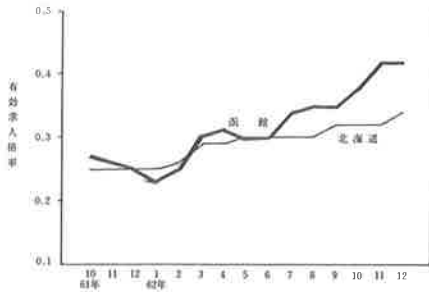
段ボールは、加工食品・青果物向けを中心に生産・荷動きとも堅調に推移。合板で

その他も 973台で同36.1%の増加と堅調、軽自動車は11月の不調がひびき 1,447台、同 1.4%の減少となっている。

5. 雇用情勢

第 3 四半期の函館職業安定所管内の雇用情勢は月平均有効求職者数（常用）が 6,502人で前年同期に比べ 0.7%減少、月平均有効求人数（常用）は 2,648人で同57.0%増加し、有効求人倍率は0.41倍と前年同期より0.15ポイント上昇した。

※図 - 2 雇用情勢



6. 金融情勢

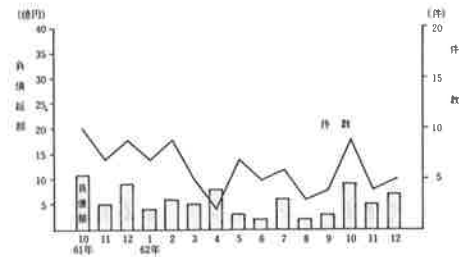
函館管内金融機関（都市及び地方銀行、相互銀行、信用金庫）の62年12月末現在の預金残高は 8,684億 100万円（前年同月比 4.6%

増）、これに対して貸出総残高は 5,912億 1,700万円（同 3.6%増）で預貸率は68.1%と前年同月に比べて 0.7ポイント下降した。

7. 企業倒産

第 3 四半期の函館管内企業倒産（負債額 1,000万円以上）は引き続き落ちついた動きで前年同期に比べ件数が 8 件減少の18件、負債総額も20億 1,200万円と同16.7%の減少となった。

※図 - 3 企業倒産



統計資料

第一種函館市内大規模小売店舗売上高（10店） 昭和63年 1月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	3,630,488	85.6	108.9
身回品	648,306	76.3	114.1
雑貨	788,654	72.7	98.0
家庭用品	686,318	62.0	106.5
食料品	1,496,244	45.8	101.3
食堂・喫茶	223,397	95.9	104.2
サピス	96,513	68.6	164.4
その他	392,249	75.5	113.7
総計	7,962,169	69.6	106.9

※10店とは樺二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショッパーズプラザ湯の川店の各店をいう。

経済の窓

(昭和62年度 10~12月期)

函館地域の 経済動向

昭和62年度第3四半期の函館管内経済動向は、民間建築、公共工事が引き続き順調に推移し生産活動が活況を呈しているほか、個人消費面では、青函連絡船ブームを背景に観光・レジャー関連が好調。一方、求人面は上向き加減で進み、企業倒産も引き続き沈静化している。

1. 公共事業発注状況

昭和62年度第3四半期迄の発注額は768億5,300万円 で前年同期(632億6,200万円)に比べ、135億9,100万円、21.5%増加しており、発注率は95.8%(前年同期96.4%)となった。

機関別にみると、函館開発建設部が412億6,700万円、発注率96.9%で前年同期(319億3,200万円、98.0%)より93億3,500万円29.2%増加する好調。函館土木現業所でも発注額が265億800万円、発注率96.6%と前年同期(240億400万円、96.6%)より上回った。

また、函館市では発注額が90億7,800万円、発注率90.4%と前年同期(73億2,600万円、87.6%)より17億5,200万円、23.9%増加と順調に推移している。

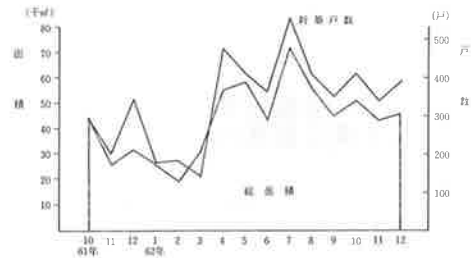
2. 建築着工状況

第3四半期の函館市内建築着工状況は建築物床面積合計が140,399㎡で、前年同期に比べ40.0%の増加、うち住宅部分床面積も100,302㎡で同55.8%の大幅増加。

また住宅総戸数は1,188戸で同27.6%の増

加、うち新築住宅が1,136戸で同35.9%の増加と引き続き好調、内訳は持ち家が435戸(前年同期比89.1%増)、借家482戸(同10.9%減)、その他219戸(同236.9%増)。

※図-1 建築着工状況



3. 電力需要

第3四半期の函館管内電力消費実績は、2億330万kwhで前年同期に比べて11.9%の増加、うち産業用電力は1億733万kwhで同20.4%増加。セメント・土石業の消費量が前年同期に比べ倍増しているのをはじめ運輸・通信・ガス・水道業、石油精製業もそれぞれ大幅に消費量を伸ばしている。

4. 個人消費

① 大型店売上高

第3四半期の函館市内第一種大型店売上高(ニトリ家具を除く)は、11月に衣料品、身回品が好気配をみせ、四半期総額で263億4,640万円、前年同期比1.5%の増加となった。

品目別では、衣料品が108億140万円の前年同期より2.0%増加したが、ほかには食料品63億5,099万円、同0.3%減、身回品19億1,191万円、同3.3%増、雑貨22億2,208万円、同3.9%減など品目別にばらつきがみられた。

② 新車登録台数

第3四半期の函館管内新車登録台数は、5,933台で前年同期より6.2%の増加と好調。

車種別では、普通小型乗用車が3,513台で前年同期より3.2%の増加と前回(7~9月期)に引き続き持ち直しの気配をみせ、貨物・

トラブルにまきこまれない為に!

印鑑の知識と保証人になる時の留意点

＜5＞

●著者/弁護士 渡部 喬一

ヒント
 びんと

8 保証人になる時の留意点
 私達が社会生活を営むうえで「保証」という制度は大変重要な役割を果しています。しかし、保証制度は上手に活用すれば、十分にその効用を発揮する反面、その使い方を誤ると思わぬ被害を被ることにもなります。そこで、実際に保証人になるとき、保証人をとるとき、の留意点について説明しましょう。



まず保証人になってくれと頼まれた場合は次の点に気をつける必要があります。
 ①債務者本人に實力があり、信頼のおける人物か否か確認すること。既に説明しましたように、保証人は、債務者本人が債務を履行できなかったときは、自らがその責任を負わなければならないからです。もし、この点に不安があったら、キツパリと拒否すべきです。名前を借りるだけだとか、決して迷惑をかけるなどと言われても、債権者に対しては、そうした弁解は一切通用しません。

- ② 契約書を確認すること。特に、債務者本人が負担する金額は必ず確認することが大切です。その他、担保の差入れがあるかどうか、他に保証人がいるかどうかも確認すべきです。
 - ③ 白紙委任状と印鑑証明書は渡さないこと。契約書を公正証書にする際、白紙委任状と印鑑証明書を要求されることがあります。できれば、公正証書は作成しない方がよいのですが、どうしても作成しなければならぬときには、委任状には、はっきり委任の内容を書くことが大切です。
 - ④ 印鑑を預けたり、捨印を押したりしないこと。印鑑を渡したり契約書に捨印を押すと、それを利用して、保証金額等を変更されるおそれがあるからです。
- 9 保証人をとるときは次の留意点
 次は次の点に気をつける必要があります。
- ① 實力のある人を保証人にする。保証人に實力がなければ保証人をとる意味がありません。
 - ② 保証人の意思を確かめること。債務者本人が勝手に保証人の氏名を書き判を押したため、後でトラブルになったというケースもよくあります。
 - ③ 契約書を取り交わすこと。保証契約は口頭でも成立しますが、後日のトラブルを防ぐため契約書を作成することが大切です。そして、できれば実印を押し、印鑑証明書を付けてもらうとよ

良い品・安い店ヤマノ

忘れられない…函館の味…… いかの粕漬
 酒の肴にかかせない…………… 生干しいか
 美味しい…………… べに飯鮭し

中村商店

本社/函館市宝来町28-8 TEL (0138) 23-8135
 FAX (0138) 23-8123
 駅前販売所/☎22-5044・函館西武店☎55-5511・内線740

いでしょう。実印が押してあれば、既に説明したとおり、本人が押したという推定が強く働くからです。

④公正証書にすること。多額の金銭を貸付け、保証人をつりつける場合には、できれば保証契約書を公正証書にしておくべきです。公正証書に強制執行認諾文言を入れておけば、債務不履行になった場合、保証人の財産に対し、裁判をおこさずに強制執行することができるところです。公正証書を作成する手続は、まず当事者双方が、実印と印鑑証明書を持参して公証役場に出向きます。次に当事者が契約内容を公証人に話し、これに基いて公証人が公正証書を作成し、これに当事者が署名捺印します。公正証書で最も重要な点は、債務者に債務不履行があったときは、強制執行をうけても異議がない旨の「強制執行認諾文言」を入れることです。これがないと強制執行することができません。また、公正証書は、代理人によって作ることもできません。この場合は、本人の実印を押した委任状と印鑑証明書、代理人の実印と印鑑証明書が必要となります。

この場合就職した本人が真面目で特別に問題をおこさなければよいのですが、何か会社でトラブルを起こした場合身元保証人にはどのような責任がかかってくるのでしょうか？

身元保証人の責任については「身元保証に関する法律」という法律で、その責任の内容が決められています。身元保証人の責任については、この法律を知っていれば、だいたいの事態に対処できます。むしろ六条しかない短い法律ですから、一度目を通しておくとよいと思います。身元保証に関する法律を中心に、身元保証人の責任について説明しましょう。

まず、身元保証契約の内容ですが、それは被用者（雇われている人）が使用者（会社）に損害を与えた場合、その損害を賠償することを約束するものです。この契約は、債務者の負担する債務の履行を保証するという点では、一般の保証と基本的に同じです。しかし、身元保証は、一般的に頼まれば断りにくいということ、債務が不確定であること等から「身元保証に関する法律」によって一般の保証より保証人の責任を軽くしています。

まず第一に期間に関しては、契約で特に期間を定めていないときは3年、期間を定めても最長5年に限り有効とされます。この期間は更新できますが更新の時から5年間に限り有効です。

第二に、被用者に業務上不適任

な面、或いは不誠実な様子が見られ、そのために保証人に責任が及ぶおそれがあることを知ったときは、使用者はそのことを保証人に通知しなければなりません。また、被用者の業務内容や勤務地が変更され、そのため保証人の責任が重くなったり、その監督が困難になったときも同様です。

第三に、こうした事情を保証人が知ったり使用者からこうした通知をうけたときは、契約を解除することができず。

第四に、身元保証人が責任を負う場合にも、その賠償額は、使用者の監督に落ち度がなかったかどうか、身元保証人が、保証人になつた事情、普段からの程度の注意をしていたか等の様々な事情を総合的に判断して決めることとなります。

このように、身元保証人の責任は、一般の保証人に比べ軽減されており、例え、特約でこれと異なる保証人に不利な内容を取り決めても無効です。しかし、身元保証人は、場合によっては、大変重い責任を負うことにもなりますから、保証人になるには、それなりの覚悟をもつたうえで契約書に判を押し、いったん保証人になつた場合には、保証した本人の勤務状況等についても、日頃から注意を払っておくことが大切です。

通信機器販売工事 (電話機・無線)
 消防施設販売工事 (自火報設備他、消火器)
 一般家電品販売工事 (各メーカー取扱い)

【今、人気の衛星放送(BSアンテナ)取扱中!】

ホ一チキ(株)代理店

北興通信株式会社

代表取締役 古川 榮一

函館市湯浜町10番23号 TEL(代)55-9335・FAX53-2482



真面目さだけでは人間性を損なう

遊びこそ文化創造の原動力

(株)ナムコ

社長室課長 甲斐敏夫

遊びこそ人間の根源的な衝動

「文化は遊びの形式の中で発生し、はじめのうち、文化は遊ばれた」とオランダの歴史学者ヨハン・ホイジンガが「ホモ・ルーデンス」で記したのは、オランダにもナチスの脅威が抜き差しならないところまで迫った一九三八年であった。ホイジンガは歴史家としての代表作「中世の秋」で、中世を暗黒時代と見なしていたイタリヤ・ルネッサンス中心の伝統的ヨーロッパ文化史に対し、中世の騎士道に人間の精神の理想を見出し、ヨーロッパ文化は十二世紀にすでに完成していたとする新しい歴史観を打ち立てた人である。

一九三六年のベルリンオリンピックがナチスの権力誇示の祭典となるのをみたホイジンガは、ヨーロッパが近代化、合理化されて行くにつれ遊びの精神が失われ、本来の人間の文化からかけ離れたものになっていくことを憂い、遊びこそ人間の本性に根ざした根源的な衝動であり、文化の源であることを「ホモ・ルーデンス」で著した。

ホイジンガは、ナチスのオランダ占領後、ナチスの不正を糾

したことにより収容所に入れられ（ユダヤ人ではない）、一九四五年不遇な死をとげる。

日本で「ホモ・ルーデンス」が出版されたのは一九六三年であり、遊びに正面から取り組んだ論として注目を浴びたが、折から高度成長期に差しかかったばかりの日本では、近代化、合理化に疑問を投げかけるホイジンガの真意はほとんど理解されることなく、人間を「ホモ・ルーデンス」遊ぶ人」と呼んだ最初の人として記憶されるに留まっている。

西欧でも「遊びは文化の墮落した形態」

現代の日本は、西欧以上の近代化、合理化に成功し、未曾有の経済発展を遂げ、すでに近代からの脱出を図ろうとするポストモダンの時代に突入し、人間の精神性や文化を考える上で遊び心の重要性が大きくクローズアップされている。働き中毒と

までいわれる日本人にも豊かな遊び心はあるのだが、長い文化的な伝統から日本人の遊び観にはある種の暗さ、後ろめたさがつきまとい、他の文化に対しても普遍性がないのでないかというコンプレックスを抱いてしまっている。しかし西欧でも実情はさほど変わらなかったのである。それまで西欧でも主流であった「遊びは文化の墮落した形態」という考えに対し、ホイジンは「遊びは文化の墮落した形態」として生まれた」とことを文化史の側から証明し、遊びの価値認識に対し大転換を行ったのである。

「ホモ・ルーデンス」は基本的には西欧的視点に立った遊びの文化史書であり、遊びがなぜ人間にとって根源的なものであり、文化の成立にどのようなかわつたかなどについては具体的には触れられておらず、文化の違いを越えた普遍的な遊びを考える時にはもどかしい思いをしてしまう。

遊びとは何かという問題に対しては現在に至るまではつきりした定説らしいものはないが、最近の脳生理学や、進化論、文化人類学などの発達によって明らかにされた成果を、遊びという視点で見ると、かなりのことがわかるようになっていく。

人間と動物の決定的違いは、何と言っても脳の大きさである。人間の記憶容量は桁違いに大きい。チンパンジーに記号で言葉を覚えさせても語彙はせいぜい数十位であるのに対して、人間では万を優に越える。下等動物では生まれた時から本能的な行動だけで生き、後天的に学習された記憶に頼ることないのに対して、哺乳類の動物の子供は好奇心の塊であり、環境の探索をし、試行錯誤しながら行動の訓練や学習をする。これが動物の遊びであるが、成長し大人になると学習を止め遊ばなくなる。

犬や猫も生命の維持に必要な最低限のパターン認識以外は、見たものはすぐに忘れ去り長期記憶に蓄えられることはほとんどない。

遊びは最も自発的自由な表現

人間は大人になっても好奇心は消えず、学習を止めないばかりか、蓄えられた膨大な記憶の中から任意のイメージや経験を組み合わせ、新たなイメージを作り出したり、先の予想をするようになる。現実にはないものをあらかじめ想定できる人間の想像力はいろいろな文化を形成していく。正確に言えば文化というのは後からの評価であって、最初は明確な目的のない試行錯誤の繰り返しであつたに違いない。何の役に立つのか、なぜそうするのかわからずとも、自分の興味のおもむくままに想像を広げ、先を予想し、未知の世界に挑む行為、これこそ遊びである。遊びは人間の想像力の最も自発的で自由な表現であり、文化創造の原動力である。

その後、文字の発明が記憶の外部ストックを飛躍的に増大させたに伴い、高度な文明が生まれ、人間は先人のやり方を受け継ぐことに比重が置かれ、近代に入ってから遊びは非効率で無駄な行為とされるようになる。ホイジンは歴史学者として、多くの偉大な文明も時代が経つにつれ初期の闊達な遊び心を失って硬直化し、やがて滅びていった様を知っており、ゆとりを失っていく近代社会に警鐘を打ち鳴らし、原点に帰れと言いたかつたに違いない。

真面目さだけの文化がいかに人間性を損なうものかを憂い、遊びの精神を失った文化はもはや文化とは言えないというホイジンの問いかけに対して、今、われわれは素直に耳を傾け、こたえなければならぬ時期に来ているのではあるまいか。

【甲斐敏夫（かい・としお）氏の略歴】

昭和十八年広島市生まれ。多摩美術大学デザイン科卒業。昭和四十五年（株）中村製作所（現ナムコ）入社、現在社長室課長。